

---

# 令和3年度予算第二特別委員会質問要旨

---

○ 局別審査

令和3年3月9日

質問者（質問順）

- 1 大貫憲夫委員（共産党）
- 2 東みちよ委員（自民党）
- 3 伏見幸枝委員（自民党）
- 4 田中ゆき委員（立民フ）
- 5 中島光徳委員（公明党）
- 6 川口 広委員（自民党）

政 策 局



# 局 別 審 査

## 1 大 貫 憲 夫 委 員 ( 共 産 党 )

### 1 コロナ禍で明らかになった横浜市政の課題について

- (1) 新型コロナウイルス感染症による市政への影響について伺いたい。
- (2) コロナ禍で炙り出された市政の課題について伺いたい。
- (3) 国の施策・政策の範囲内でしか市の施策等を考えていないと思うが、見解を伺いたい。
- (4) 思考停止型の市政になっていると思うが、見解を伺いたい。
- (5) 国はPCR検査について、「広範な検査の実施は問題がある。医療崩壊に繋がる恐れがある。必要と認めるものに対して検査を実施する」としている。これは市がこれまでやってきたことだと思うが、見解を伺いたい。
- (6) 3月5日の菅首相のPCR検査に係る発表内容について、見解を伺いたい。
- (7) 国はPCR検査について広く行くと変わってきたが、市も変えるのか見解を伺いたい。
- (8) 国は無症状の人に対してモニタリング調査を行うと方針転換したが、市も実施する必要があると思うが、見解を伺いたい。
- (9) 県費ではなく、他の予算を組み替えてでも市独自で広げていくことが大事だと思うが、見解を伺いたい。
- (10) 市独自で広げていかないのであれば、思考停止型の市政と誹りを受けても仕方ないと思うが、小林副市長の見解を伺いたい。
- (11) まちづくりに関して、国の政策に従った範囲内でしか事業を行っていないと思うが、見解を伺いたい。
- (12) IRは国家プロジェクトだから進めなくてはいけないという態度こそ、国のいいなりになっていると思うが、見解を伺いたい。
- (13) 国が実施しようとしている国家プロジェクトを率先してやっているのがIRだと思うが、見解を伺いたい。
- (14) 国際園芸博覧会誘致の意義について伺いたい。

- (15) Y150は500万人の入場者予想で実際には250万人しか集まらなかった。国際園芸博覧会も同じ結果になる恐れがないのか、見解を伺いたい。
- (16) Y150の反省点として、500万人という入場者目標が科学的なものでなく、あくまでも予想だったというところに問題があったと思う。国際園芸博覧会の1500万人も同じではないかと思うが、見解を伺いたい。
- (17) 池子住宅地区及び海軍補助施設について、市民運動を起こしてでも返還を求めることが市のあるべき態度だと思うが、見解を伺いたい。

1 男女共同参画の推進について

- (1) コロナ禍の状況変化を踏まえた女性支援に関する取組について伺いたい。
- (2) 電話相談事業の相談状況と相談内容について伺いたい。
- (3) コロナ禍を踏まえてどのように男女共同参画を推進していくのか伺いたい。

2 コロナ禍におけるリビングラボと企業版ふるさと納税について

- (1) コロナ禍における本市のリビングラボへの支援について伺いたい。
- (2) コロナ禍だからこそ、市内各地のリビングラボの連携支援を強化すべきだと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 企業版ふるさと納税制度の概要、本市での活用実績及び今後の活用見込みについて伺いたい。
- (4)リビングラボ等から創出される、地域に根差した新しい課題解決の取組を支援するために、企業版ふるさと納税制度を活用すべきと考えるが、見解を伺いたい。

3 デジタル技術の活用による地域活性化の検討について

- (1) 想定されている地域課題について伺いたい。
- (2) 令和3年度の取組内容について伺いたい。

4 地域内における移動手段の確保について

- (1) 地域内で高齢者に求められる移動手段について伺いたい。
- (2) 地域の総合的な移動サービスのあり方検討調査の具体的な内容について伺いたい。
- (3) 地域の総合的な移動サービスのあり方検討調査を踏まえた今後の展開について伺いたい。
- (4) 持続可能な地域交通の確保に向けて、政策局が旗振り役となり、関係局が一丸となって取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 地域内における移動手段を確保する効果は、住む人の利便性の向上、住みやすさ、まちの活性化、横浜市の持続的な成長に繋がる第一歩になる可能性を秘めている。トライアンドエラーの先に成功があると思うので、しっかりとチャレンジしていただきたい。

## 5 横浜市立大学の研究開発の推進について

(1) 新型コロナウイルスに関する市大の研究開発の内容について伺いたい。

(2) 抗ウイルス抗体等の保有に関する研究の今後の展開について伺いたい。

(3) 再整備を通じて、研究をより一層推進していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 横浜市立大学附属2病院において、今回の新型コロナウイルスに関する研究のように、将来に渡って社会に貢献できる研究が活発に行われるようにしていただきたい。

## 6 横浜特別自治市について

(1) 横浜特別自治市大綱を改訂する意義について伺いたい。

(2) 特別自治市の具体的なメリットについて伺いたい。

(3) 警察事務についても特別自治市において一体的に取り組むことも必要と考えるが、見解を伺いたい。

(4) 特別自治市における区役所の役割と機能の考え方について伺いたい。

### 3 伏見幸枝委員（自民党）

#### 1 新たな発想に基づく公民連携の取組の推進について

- (1) P F S を活用している全国の自治体の状況について伺いたい。
- (2) 今後、横浜市で P F S の活用をどのように進めていくのか伺いたい。

#### 2 海洋都市横浜の取組について

- (1) 「海洋都市横浜」の実現に向けた今年度の取組状況について伺いたい。
- (2) 来年度の I C T 等を活用した取組について伺いたい。
- (要望) 海洋都市横浜として、将来の人材育成に繋がる海を活用した教育プログラムを多く展開していただきたい。

#### 3 誰もが活躍できる社会づくりについて

- (1) 理工系分野の職業選択に向けた課題と必要な取組について伺いたい。
- (2) よこはまグッドバランス賞の事業内容と実績について伺いたい。
- (3) よこはまグッドバランス賞認定のメリットと今後の事業の方向性について伺いたい。

#### 4 新たな劇場と次世代育成について

- (1) 劇場整備の予算と事業化判断との関係について伺いたい。
- (2) 管理運営と基本計画の全体の進め方について伺いたい。
- (3) 芸術創造推進費における次世代育成の具体的な取組内容について伺いたい。
- (4) 次世代育成における劇場の役割について伺いたい。
- (要望) 横浜の将来を見据え、市民の理解を深めながら検討を進めていただきたい。

4 田 中 ゆ き 委員（立民フ）

- 1 コロナ禍における市庁舎低層部の入居事業者との公民連携について
  - (1) 市庁舎低層部を公民連携という観点から活用する意義について伺いたい。
  - (2) これまでの連携の実績について伺いたい。
  - (3) 全市域的な視点から市庁舎スペースを公民連携で有効に活用していくべきと考えるが、見解を伺いたい。
  
- 2 新たな劇場と舞台芸術の振興について
  - (1) 重要なソフトの議論が深まらないまま、巨大な箱モノ整備ありきで進んでいるように見えるが、見解を伺いたい。
  - (2) 芸術創造推進費の劇場整備検討における位置付けについて伺いたい。
  - (3) 地域における舞台芸術の振興の意義について伺いたい。
  - (4) 今年度、地域の舞台芸術活動団体にヒアリングした状況及び令和3年度の実施内容について伺いたい。

(要望) 劇場整備については、真摯に丁寧に、市民の皆様の声に耳を傾けていただきたい。
  
- 3 データ可視化・分析ツールの活用について
  - (1) データ可視化・分析ツールの特徴について伺いたい。
  - (2) ツールを活用できるスキルの習得や向上のためのサポートについて伺いたい。
  - (3) ツール活用の今後の方向性について伺いたい。
  
- 4 S I Bモデル事業について
  - (1) 今年度開始したモデル事業の狙いについて伺いたい。
  - (2) 事業の成果の計測方法及び支払額の決定方法について伺いたい。
  - (3) モデル事業終了後の方向性について伺いたい。

## 5 調査季報について

- (1) 作成を通じた人材育成の意義についての考えを伺いたい。
- (2) 特集テーマの設定をどのように考えているか伺いたい。

## 6 理工系女子応援事業について

- (1) 本事業の狙いについて伺いたい。
- (2) 今年度の実施状況について伺いたい。
- (3) 令和3年度の事業内容と今後の展開について伺いたい。

## 7 介護デジタルハッカソン in 横浜について

- (1) 介護と若者を結びつけた経緯とその狙いについて伺いたい。
  - (2) 若者たちのアイデアを現場で役立つ形にするための本市としてのサポート内容について伺いたい。
  - (3) これまでの成果と本市の評価について伺いたい。
  - (4) 今後、本市としてどのように発展させていくのか伺いたい。
- (要望) 横浜で、介護の仕事をしたい、介護を受けたい、介護を学びたいと思えるようになるよう、今後も介護デジタルハッカソン in 横浜を推進していただきたい。

1 データ活用の推進について

- (1) オープンデータポータルの利用状況について伺いたい。
- (2) 行政の課題解決に向けて、データを積極的に活用すべきと考えるが、見解を伺いたい。

2 横浜特別自治市について

- (1) 大都市制度推進本部室の設置目的と組織体制の強化の内容について伺いたい。
- (2) 強化した体制により具体的に取る内容について伺いたい。
- (3) 増額した予算により具体的に取る内容について伺いたい。
- (4) 特別自治市の早期実現に向けた決意について伺いたい。

3 新たな劇場整備について

- (1) 新たな劇場整備における国際連携の意義について伺いたい。
- (2) 今後の国際連携の強化への取組について伺いたい。
- (3) 人材育成の取組を取り巻く課題について伺いたい。
- (4) 新たな劇場の機能として、世界にはばたく人材育成の取組について伺いたい。

4 今後のまちづくりにおける地域交通について

- (1) 地域交通に関する区役所への支援について伺いたい。
- (2) 今後の具体的な検討内容について伺いたい。
- (要望) 地域交通に関する具体的な事業を進めるには、人員・組織・財源もセットでなければ実効性のあるものにならないため、市全体で一丸となって取り組んでいただきたい。

5 公民連携による災害に強い、持続可能なまちづくりについて

- (1) ワールドリビングラボの趣旨とその成果について伺いたい。
- (2) YOKOHAMA リビングラボ・サポートオフィスが提案した「自立分散型の地域防

災拠点」の具体的な取組内容について伺いたい。

(3) 複合的な社会経済効果が期待できる取組への政策局としての支援について伺いたい。

## 6 SDG s の推進について

(1) 本市のSDG s の推進における政策局の役割について伺いたい。

(2) 政策局のこれまでの取組について伺いたい。

(3) SDG s を一層推進するために必要な今後の取組について伺いたい。

1 米軍根岸住宅地区の跡地利用について

- (1) 返還前に跡地利用基本計画を策定する理由について伺いたい。
- (2) 地権者のさらなる合意形成に向けて取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。

2 今後のデジタル化をふまえた上での新たな劇場整備の検討について

- (1) 基本計画の検討に際し、検討委員会の関わりと今後の進め方について伺いたい。
- (2) 劇場運営においてデジタル化を導入すべき分野及び特に重点的に検討すべき分野について伺いたい。
- (3) 新たな劇場における映像配信の位置付けについて伺いたい。
- (4) 劇場がデジタル化に係る技術を生かし切れていない課題への認識について伺いたい。

3 データ活用と公民連携及び地域循環型経済の推進について

- (1) 「オンライン上での共創フロントの活用促進・提案の質向上のための新たな基盤」の概要及び狙いについて伺いたい。
- (2) データ活用と公民連携に関する東京大学及び富士通株式会社との連携協定の目的及び概要について伺いたい。
- (3) 「サーキュラー・エコノミーPlus」とは、どのような社会経済ビジョンなのか伺いたい。
- (4) 「サーキュラー・エコノミーPlus」を掲げる共創ラボの取組によって生まれている具体的な成果について伺いたい。
- (5) 里山オリーブや養蜂の振興などにも生かせる、SDGsと地域循環型経済をデータとデジタルテクノロジーの活用によって実現させていくような公民連携のプラットフォームを横浜市として推進すべきと考えるが、見解を伺いたい。  
(要望) 今後は行政もテクノロジーも含めて、想像力が生かせるような未来になっ

てくると思われる。ぜひ、政策局の職員の皆さんの想像力を生かしていただきたい。